

ぎょうむそくほう

【ダイジェスト】

No.725

2026年9月24日

東海旅客鉄道労働組合

<https://www.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進!

Japan-Railway-Tohoku-Workers-UNION / Japan-Railway-Tohoku-Workers-UNION / Japan-Railway-Tohoku-Workers-UNION

系統別業務委員会②【車両・施設・電気】

系統別業務委員会において詳細に議論

Japan-Railway-Tohoku-Workers-UNION / Japan-Railway-Tohoku-Workers-UNION / Japan-Railway-Tohoku-Workers-UNION

9月24日、申第3号「より親しまれる会社をめざした各種施策の展開」(系統別課題)に関する申し入れに基づき業務委員会(車両・施設・電気)を開催し、業務量に見合った要員措置や人財確保、外国人材の活用、熱中症対策の推進、業務効率化、技術継承等、各系統の課題について多岐にわたり議論を展開した。

車両系統では、取得データの分析を通じた新たな検査・修繕手法の検証等を行うことや、383系の取替を見据えた385系、キハ75形の更新に伴うHC35形の投入計画が示された。また、施設系統では、線路閉鎖工事等の運転取扱いについて、計画段階、実行段階における人による作業・確認業務のシステム化に着手したことや、電気系統においては、工事契約や工事打合せ方法、検査実施方法の見直しや、Teams等を活用した施工打合せの導入に向けた試行を進めていることを確認した。

そのうえで、組合からは、業務改革や各種施策が進む中、業務実態を正確に把握した上で、機動的な要員措置が可能となる柔軟な職場体制の構築など、業務の抜本的な見直しについても不断に推進するよう主張した。

JR東海ユニオンは、引き続き職場の実態をしっかりと伝え、「将来にわたる会社の発展と組合員・家族の幸せ実現」に向けて交渉を展開していく。

【主な議論内容】(黄色部分は、現時点で前進を確認した事項)

1. 共通

- ✓業務量に見合った要員配置と業務効率化の推進
- ✓人財確保の取り組み
- ✓T等級の働き方
- ✓熱中症対策の推進
- ✓各種学会の加入促進

2. 車両系統

- ✓地域を跨ぐ異動
- ✓検修設備の老朽化対策等
- ✓中東情勢の影響
- ✓グループ会社・関係会社の人財不足に向けた技術革新
- ✓老朽車両メンテナンス

3. 施設・電気系統

- ✓業務量に見合った要員配置と業務効率化の推進
- ✓技術継承、技術力向上に向けた人財確保及び教育体制の充実(技術継承、各種訓練・競技会、社内ライセンス)
- ✓グループ会社・関係会社の人財不足に向けた技術革新
- ✓事象等に対する対応
- ✓保全・工事業務が確実に実施できる保守作業間合いの確保
- ✓短中期的に前進を図るべき課題

・ポテンシャル採用の採用実績は、車両系統1名、施設系統9名、電気系統4名が各現業職場等へ配属予定であることを確認!

・外国人採用は今年度、当社にて2名(車両系統、名古屋工場配属予定)、協力会社にて15名採用し、受入準備が進められていることを確認!

・385系量産先行車は今年度完成し、走行試験が実施されていることを確認!
・HC35形を2028年度から19編成(38両)投入することを確認!

・施設系統では線路閉鎖工事等の運転取扱いについては、計画段階、実行段階における人による作業・確認業務のシステム化について着手したことを確認!

・電気系統では工事契約や工事打合せ方法、検査実施方法の見直しについては、Teams等を活用した遠隔での施工打合せも導入に向けた試行を進めていることを確認!

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。